

【主な用途】

- 各種ケーブル・パイプライン敷設ルート調査
- 地層探査
- 海底資源探査
- 堆砂測量
- 埋設物探査

高解像度チャープ式地層探査機

Bathy2010P



諸元表

メーカー	SyQwest社(米国)
使用周波数	2~12kHz(チャープ式/パルス式)
可測深度	2.5~5000m(9素子仕様、実績)
最大探査深度	海底下100m(9素子、泥質堆積物の場合)
地層探査分解能	最大6cm
使用素子数	2素子(舷側固定) 4素子(曳航方式) 9素子(船底固定/曳航方式)
指向角	2素子時:60°(進行方向) 119°(直交方向) 4素子時:60° 9素子時:40°
データフォーマット	ODC、SEG-Y
使用電圧	110~240VAC、50~60Hz

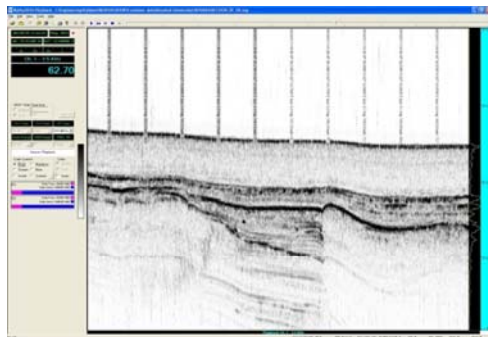
オーシャンエンジニアリング株式会社

・本社 〒305-0841 茨城県 つくば市御幸が丘43
 TEL : 029-897-3151 FAX : 029-897-3152
 E-mail : ocean-eng@pop17.odn.ne.jp
 HP : <http://www.ocean-eng.com>

オーシャンエンジニアリング株式会社

海底下の地質断面イメージを取得します

地層探査機とは、音波を送受振し海底下浅部の地質断面を可視化するシステムです。海水や堆積物などの媒質中を伝わる音波は、その一部が音響インピーダンス(媒質の密度と媒質中の音速度との積)の変化点で反射する性質があります。その反射波を観測することで海底下の地質情報を明らかにします。



特徴：高解像度チャープ式地層探査機、海底状況によりパルス波も使用可能
使用例：堆積層の厚層調査、埋没物探査

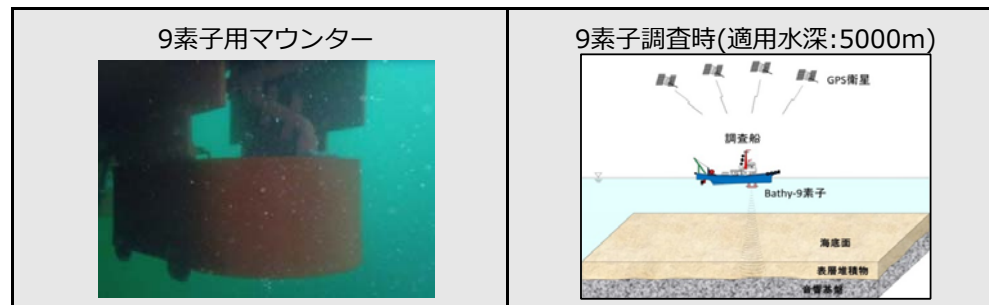
種々の船舶への艀装に対応しました



音波送受振素子

専用の艀装用マウンターを製作し、小型の船外機船から数百tクラスの大型船まで幅広い船種での調査を実現しました。弊社では河口部から沿岸海域、水深5000mの深海域までの調査実績を持ち、湖や河川等の陸水域での調査も実施可能です。

艀装機材	調査イメージ
<p>2素子用マウンター</p>	<p>2素子調査時(適用水深:100m)</p>
<p>4素子用曳航体</p>	<p>4素子調査時(適用水深:1000m)</p>



弊社所有の他の地層探査機との比較

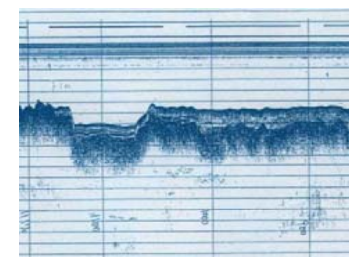
弊社では多様な調査に対応するため、周波数や使用法の異なる地層探査機を取り揃えております。高出力の音波で大水深域まで調査可能なBathy2010Pをはじめ、湾内に分布する“浮泥層”を捉えるのに特化した周波数特性を持つSH-20、海底面の音響画像を同時取得可能なK-CHIRP/2000DSS等が稼働しております。

SH-20

主に湾内等の静水域に堆積する“浮泥”とその下位層を良く分離する。



送波器／受波器



記録例：最上位が浮泥層

K-CHIRP/2000DSS

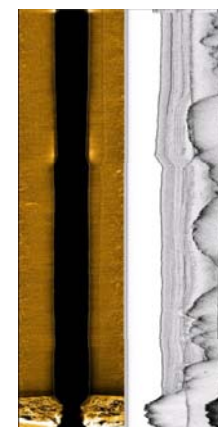
地層探査記録と音響画像の同時取得が可能。曳航体を深く沈め海底面近くを曳航することで、大水深域(~2000m)でも品質の高い記録が取得できる。



2000DSS曳航体



K-CHIRP曳航体



K-CHIRP記録例

(左:音響画像 右:地層探査記録)